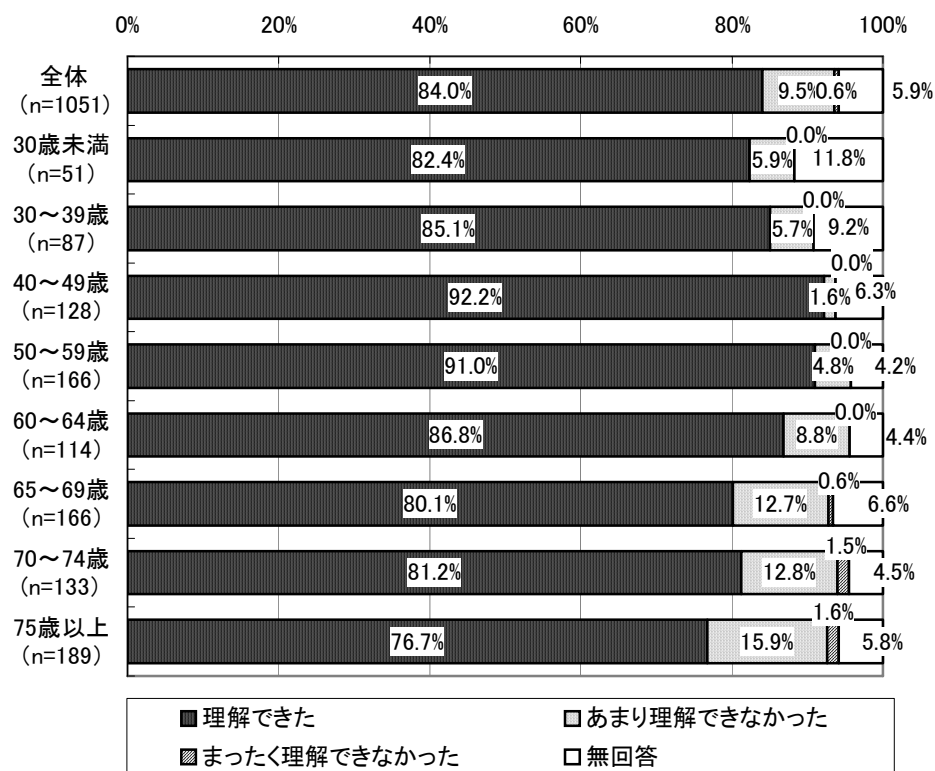


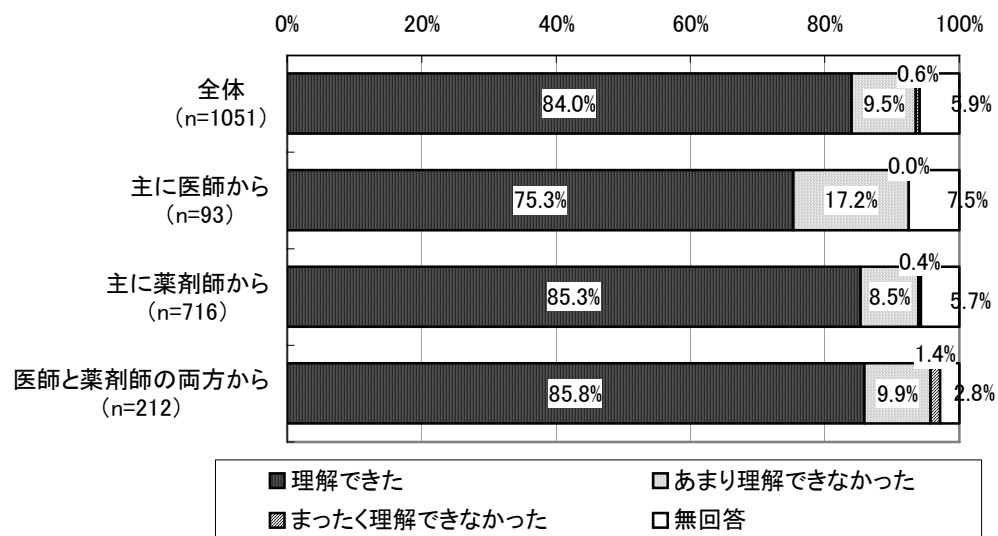
後発医薬品についての説明内容の理解度について年齢階層別にみると、どの年齢層も「理解できた」が最も多いが、その割合は、「65～69歳」では80.1%、「70～74歳」では81.2%、「75歳以上」では76.7%となっており、「全体」や他の年齢層と比較して低い結果となった。60歳以上についてみると、年齢層が高くなるにしたがって、「あまり理解できなかった」「まったく理解できなかった」の割合が高くなる傾向がみられた。

図表 115 説明された内容の理解度（説明を受けたことがある人、年齢階層別）



後発医薬品についての説明内容の理解度について「主な説明者」別にみると、「おもに医師から」と回答した患者では「理解できた」が75.3%、「あまり理解できなかった」が17.2%であった。「おもに薬剤師から」と回答した患者では「理解できた」が85.3%、「あまり理解できなかった」が8.5%であった。また、「医師と薬剤師の両方から」と回答した患者では「理解できた」が85.8%、「あまり理解できなかった」が9.9%となった。

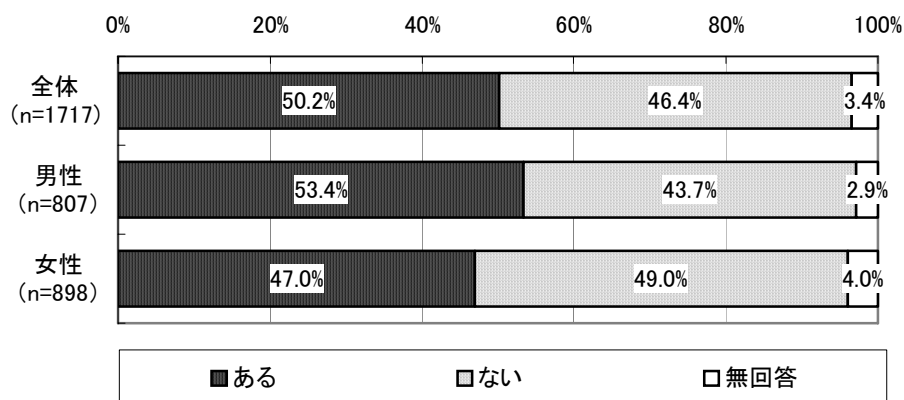
図表 116 説明された内容の理解度（説明を受けたことがある人、主な説明者別）



6) 後発医薬品の使用経験の有無

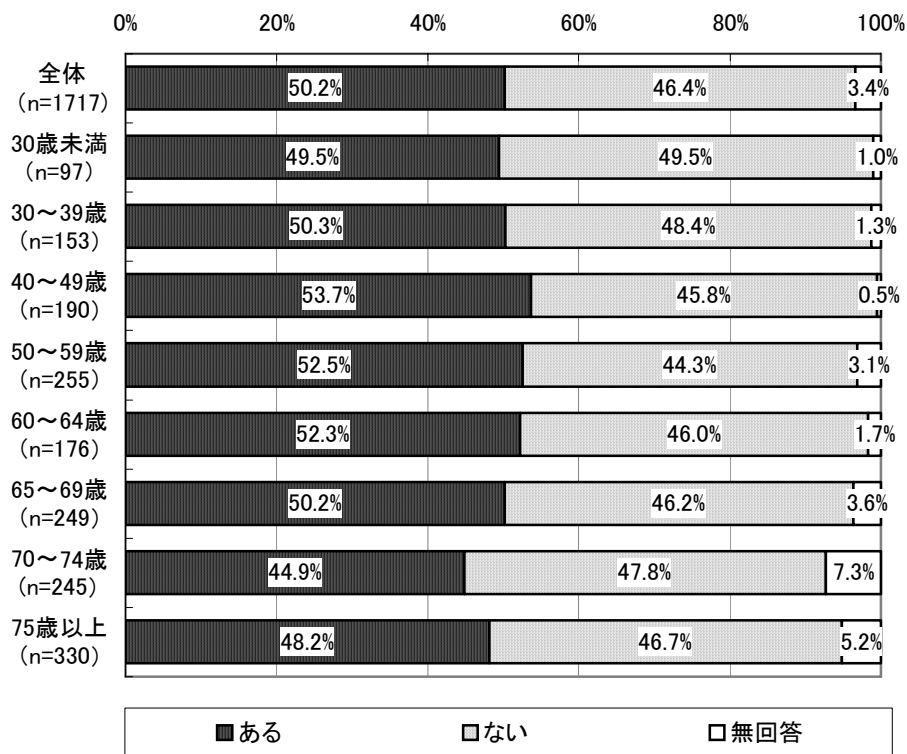
後発医薬品の使用経験の有無についてみると、全体では、後発医薬品の使用経験が「ある」が50.2%、「ない」が46.4%であった。男女別にみると、男性は女性と比較して「ある」という回答が6.4ポイント高い結果となった。

図表 117 後発医薬品の使用経験の有無（男女別）



後発医薬品の使用経験の有無について年齢階層別にみると、「40～49 歳」では使用経験が「ある」という回答が 53.7%で、すべての年齢層で最も高い割合となった。一方、「70～74 歳」では「ある」が 44.9%で最も低い結果となった。

図表 118 後発医薬品の使用経験の有無（年齢階層別）

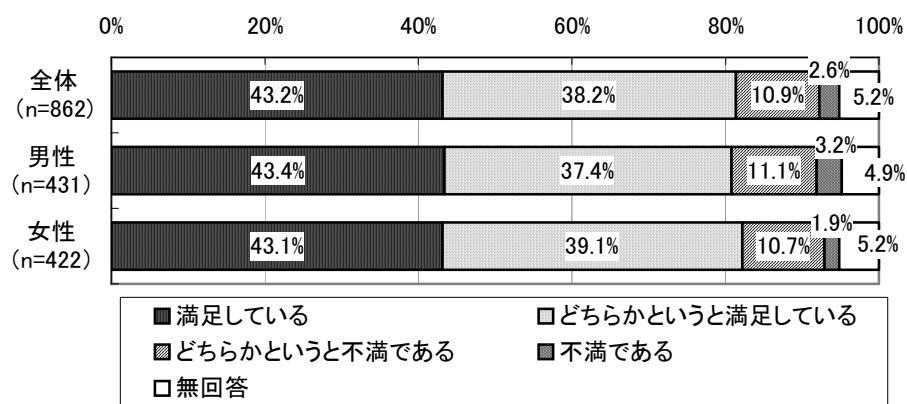


7) 後発医薬品を使用した満足度

後発医薬品を使用した満足度についてみると、「満足している」が 43.2%、「どちらかという満足している」が 38.2%、「どちらかという不満である」が 10.9%、「不満である」が 2.6%であった。

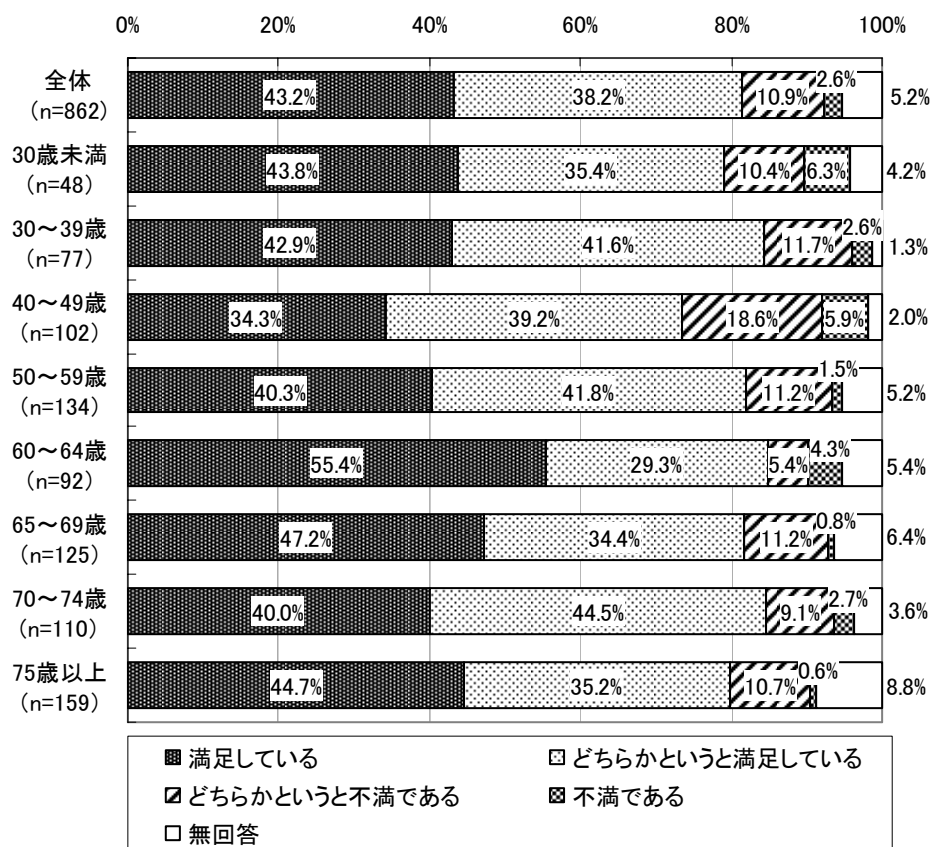
男女別にみると、満足とする回答（「満足している」と「どちらかという満足している」を合計した割合）は男女ともに 8 割を超え、不満とする回答（「どちらかという不満である」と「不満である」を合計した割合）は 1 割程度となった。

図表 119 後発医薬品の使用の満足度（使用経験ある人、男女別）



後発医薬品を使用した満足度について年齢階層別にみると、満足しているという回答（「満足している」と「どちらかという満足している」を合計した割合）は、「40～49歳」では73.5%とやや低くなっているものの、他の年齢層ではおよそ8割前後となった。

図表 120 後発医薬品の使用の満足度（使用経験のある人、年齢階層別）

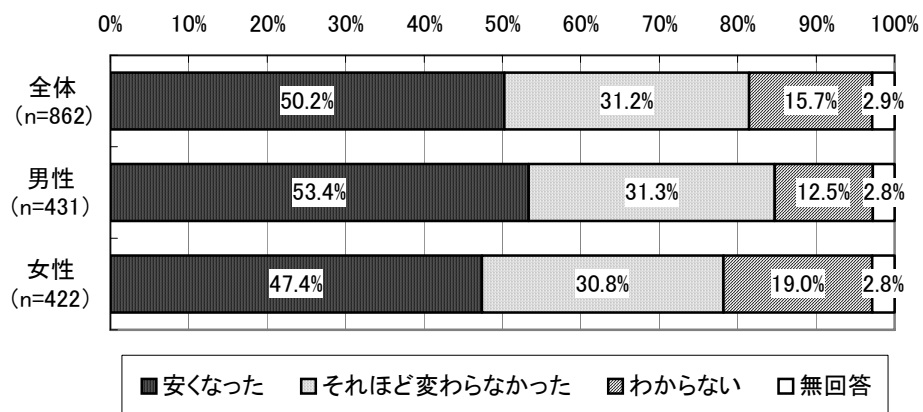


7) 窓口での薬代の負担感

窓口での薬代の負担感について、後発医薬品の使用経験のある人にたずねたところ、「全体」では「安くなった」が 50.2%、「それほど変わらなかった」が 31.2%、「わからない」が 15.7%であった。

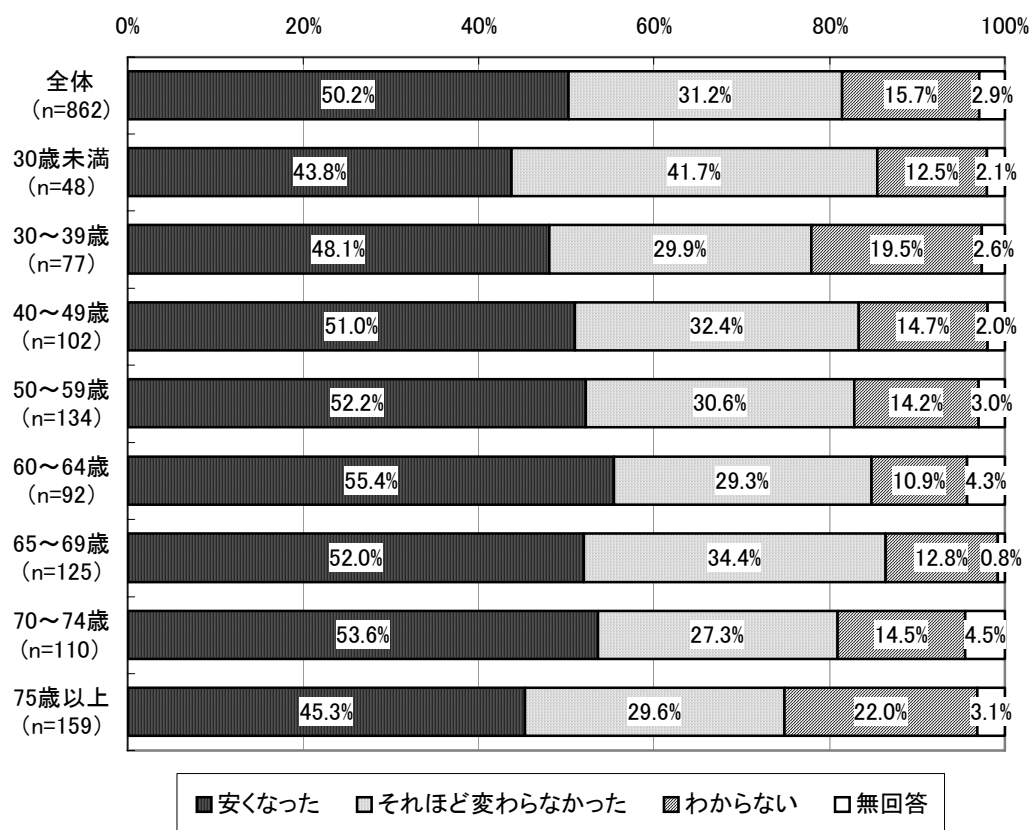
男女別にみると、男性では「安くなった」が 53.4%となり、女性と比較して「安くなった」という回答が 6 ポイント高い結果となった。

図表 121 窓口での薬代の負担感（使用経験のある人、男女別）



窓口での薬代の負担感について年齢階層別にみると、30歳未満と75歳以上では「安くなった」という回答が「全体」や他の年齢層と比較して低かった。「30～39歳」と「75歳以上」では「わからない」という回答がおよそ2割を占めており、他の年齢層と比較して相対的に高い結果となった。

図表 122 窓口での薬代の負担感（使用経験のある人、年齢階層別）

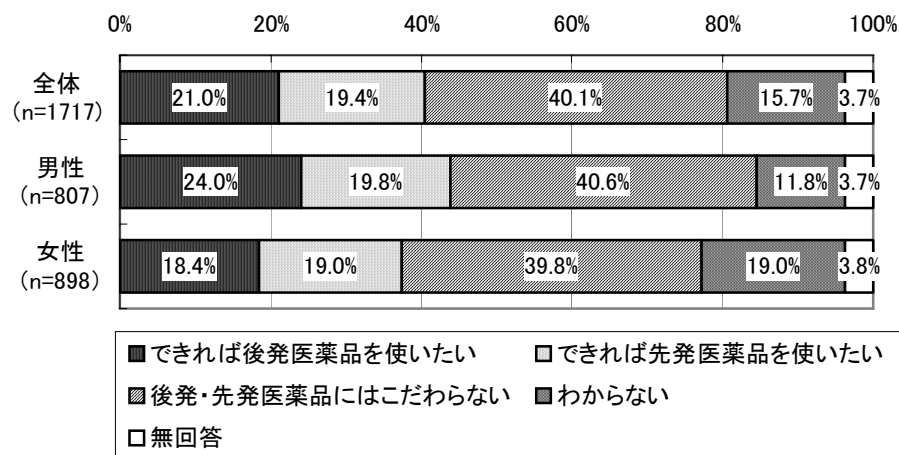


8) 今後の後発医薬品使用に対する考え方

今後の後発医薬品使用に対する考え方についてみると、全体では、「後発医薬品・先発医薬品にこだわらない」が 40.1%で最も多く、次いで「できれば後発医薬品を使いたい」が 21.0%、「できれば先発医薬品を使いたい」が 19.4%、「わからない」が 15.7%であった。

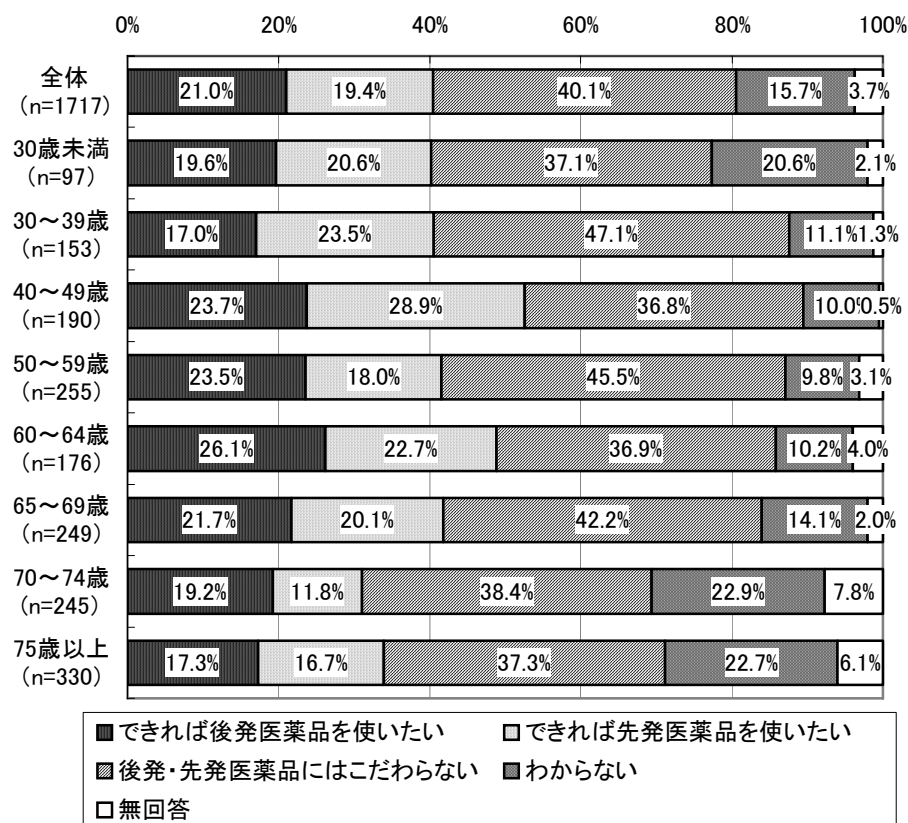
男女別にみると、男性では「できれば後発医薬品を使いたい」が 24.0%となっており、女性（18.4%）と比較して、5.6 ポイント高い結果となった。

図表 123 後発医薬品使用に対する考え方（男女別）



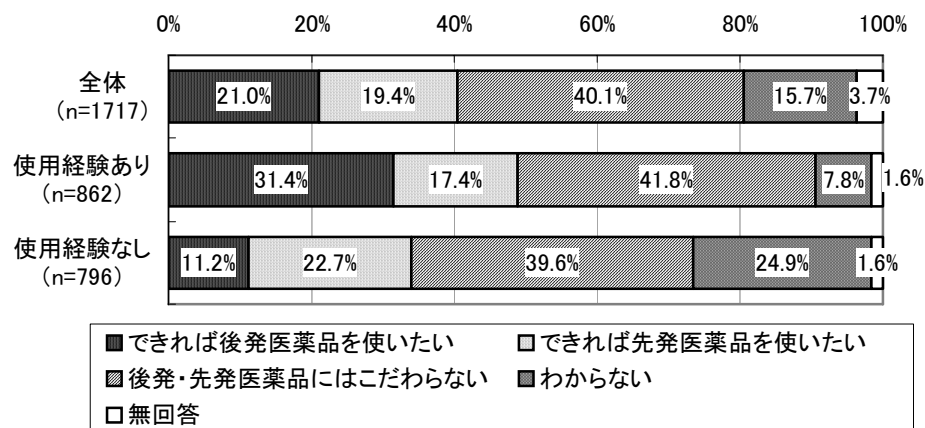
後発医薬品使用に対する考え方について年齢階層別にみると、50歳未満までの年齢階層では「できれば後発医薬品を使いたい」に比べ「できれば先発医薬品を使いたい」の割合が高いが、50歳以降では逆転しており、「できれば後発医薬品を使いたい」が「できれば先発医薬品を使いたい」を上回る数値となった。

図表 124 後発医薬品使用に対する考え方（年齢階層別）



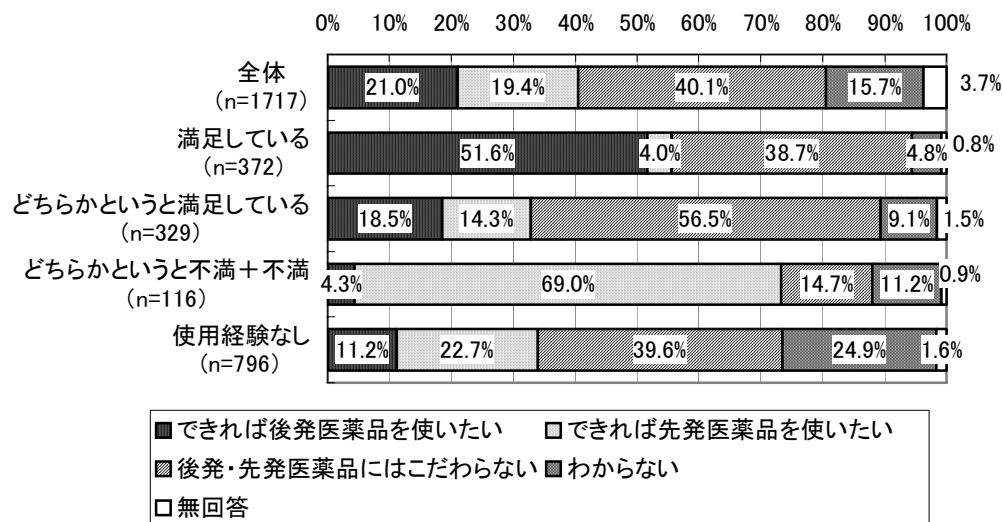
後発医薬品使用に対する考え方について後発医薬品の使用経験別にみると、「使用経験あり」の患者では「できれば後発医薬品を使いたい」が 31.4%となり、「使用経験なし」の患者の回答（11.2%）と比較して 20.2 ポイント高い結果となった。「使用経験なし」の患者では「わからない」が 24.9%となっており、「使用経験あり」の患者と比較して 17.1 ポイント高かった。

図表 125 後発医薬品使用に対する考え方（後発医薬品の使用経験別）



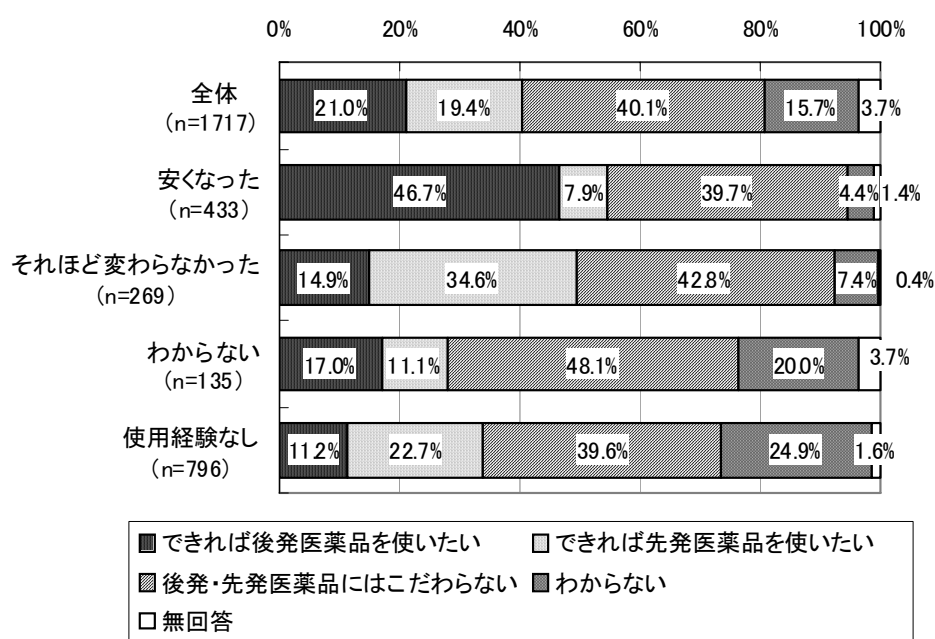
後発医薬品使用に対する考え方について後発医薬品に対する満足度別にみると、「後発医薬品に満足している」という患者では「できれば後発医薬品を使いたい」（51.6%）が最も多く、次いで「後発・先発医薬品にはこだわらない」（38.7%）、「できれば先発医薬品を使いたい」（4.0%）の順となった。また、「どちらかという満足している」という患者では「後発・先発医薬品にはこだわらない」（56.5%）が最も多く、次いで「できれば後発医薬品を使いたい」（18.5%）、「できれば先発医薬品を使いたい」（14.3%）の順となった。「どちらかという不満＋不満」の患者では「できれば先発医薬品を使いたい」（69.0%）が最も多く、次いで「後発・先発医薬品にはこだわらない」（14.7%）、「できれば後発医薬品を使いたい」（4.3%）の順となった。

図表 126 後発医薬品使用に対する考え方（後発医薬品に対する満足度別）



後発医薬品使用に対する考え方について窓口での薬代の負担感別にみると、「安くなった」という患者では「できれば後発医薬品を使いたい」（46.7%）が最も多く、次いで「後発・先発医薬品にはこだわらない」（39.7%）、「できれば先発医薬品を使いたい」（7.9%）の順となった。また、窓口の負担が「それほど変わらなかった」という患者では「後発・先発医薬品にはこだわらない」（42.8%）が最も多く、次いで「できれば先発医薬品を使いたい」（34.6%）、「できれば後発医薬品を使いたい」（14.9%）の順となった。

図表 127 後発医薬品使用に対する考え方（窓口の薬代の負担感別）

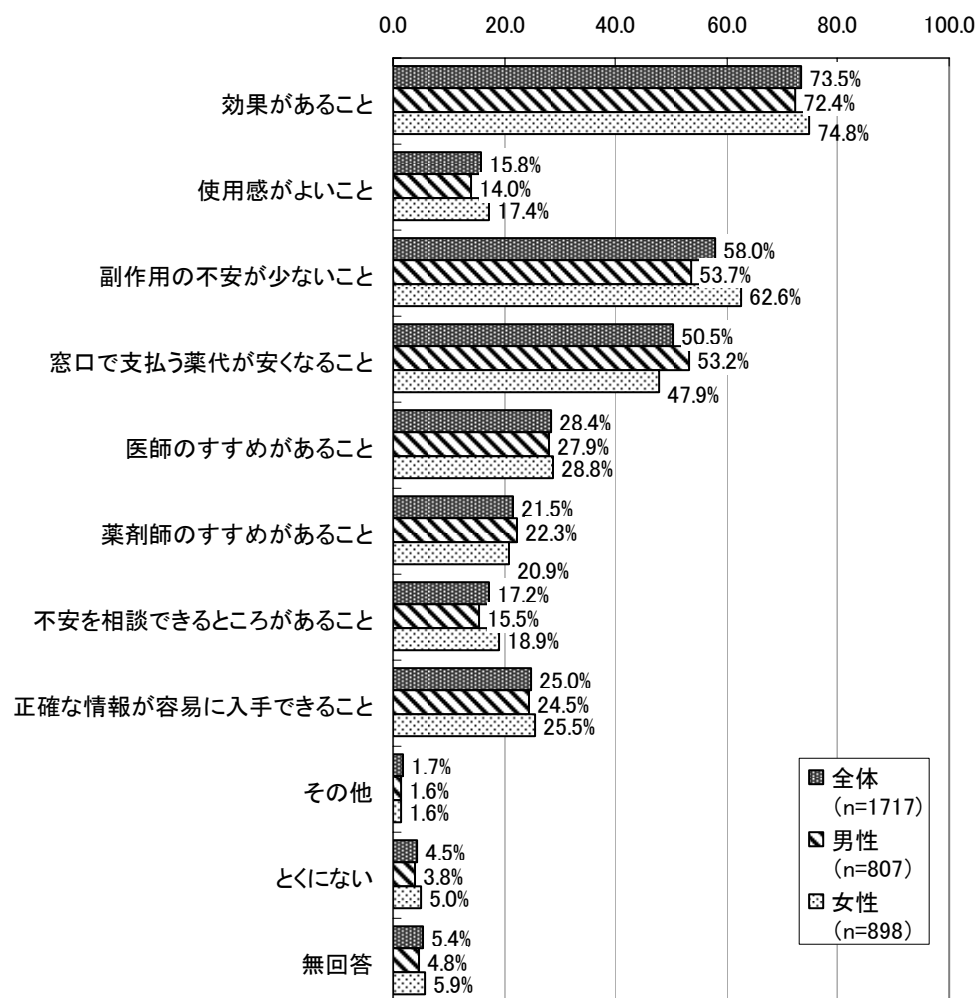


9) 後発医薬品を使用するにあたって必要なこと

後発医薬品を使用するにあたって必要なことについてみると、「全体」では、「効果があること」(73.5%)が最も高く、次いで「副作用の不安が少ないこと」(58.0%)、「窓口で支払う薬代が安くなること」(50.5%)となった。

男女別にみると、男女ともに「効果があること」(男性 72.4%、女性 74.8%)が最も高く、次いで「副作用の不安が少ないこと」(男性 53.7%、女性 62.6%)、「窓口で支払う薬代が安くなること」(男性 53.2%、女性 47.9%)の順となった。女性では男性と比較して「副作用の不安が少ないこと」の回答割合が 8.9 ポイント高い結果となった。一方、男性では女性と比較して「窓口で支払う薬代が安くなること」の回答割合が 5.3 ポイント高い結果となった。

図表 128 後発医薬品を使用するにあたって必要なこと（複数回答、男女別）



(注)「全体」には性別について無回答だった 12 人が含まれている。

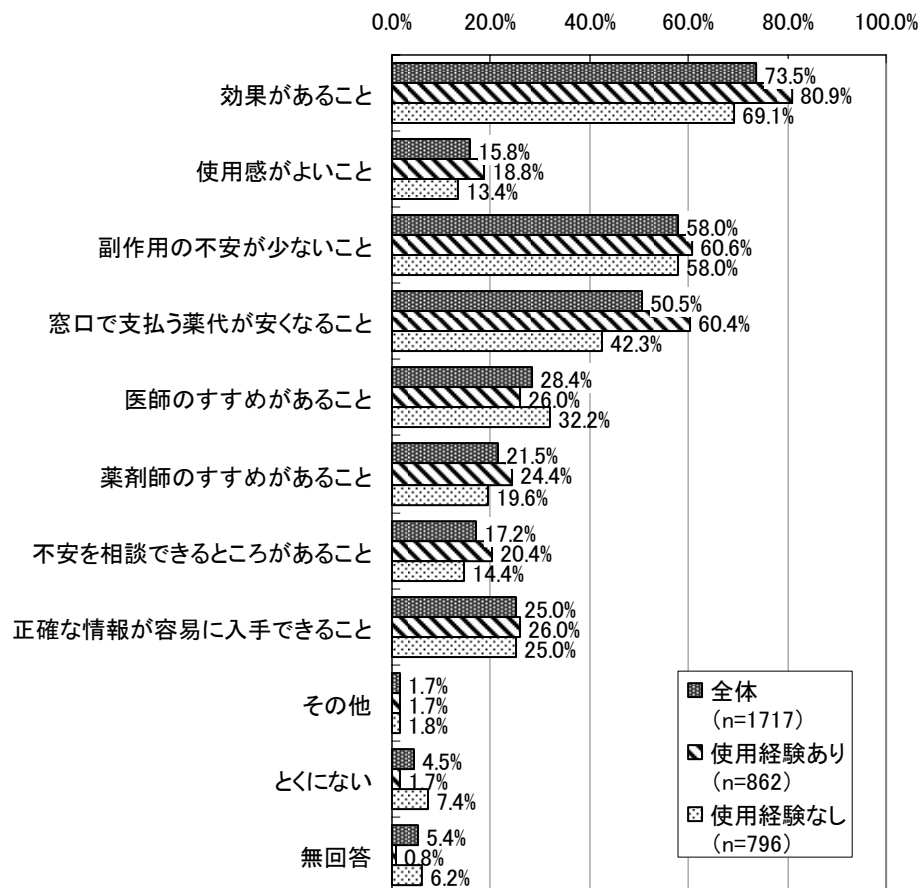
後発医薬品を使用するにあたって必要なことについて年齢階層別にみると、どの年齢層においても「効果があること」、「副作用の不安が少ないこと」、「窓口で支払う薬代が安くなること」が上位を占めている。また、年齢層が高くなるにしたがって、「医師のすすめがあること」、「薬剤師のすすめがあること」が高くなる傾向がみられた。

図表 129 後発医薬品の使用に必要なこと（複数回答、年齢階層別）

	総数	効果があること	使用感がよいこと	副作用の不安が少ないこと	窓口で支払う薬代が安くなること	医師のすすめがあること	薬剤師のすすめがあること	不安を相談できるところがあること	正確な情報が容易に入手できること	その他	とくにない	無回答
全体	1717 100.0	1262 73.5	271 15.8	996 58.0	867 50.5	488 28.4	369 21.5	295 17.2	429 25.0	29 1.7	77 4.5	92 5.4
30 歳未満	97 100.0	82 84.5	23 23.7	62 63.9	51 52.6	24 24.7	18 18.6	17 17.5	24 24.7	6 6.2	3 3.1	0 0.0
30～39 歳	153 100.0	127 83.0	36 23.5	96 62.7	89 58.2	33 21.6	24 15.7	22 14.4	30 19.6	5 3.3	7 4.6	3 2.0
40～49 歳	190 100.0	154 81.1	40 21.1	131 68.9	103 54.2	47 24.7	39 20.5	36 18.9	51 26.8	5 2.6	6 3.2	3 1.6
50～59 歳	255 100.0	207 81.2	37 14.5	169 66.3	146 57.3	67 26.3	55 21.6	45 17.6	87 34.1	4 1.6	10 3.9	5 2.0
60～64 歳	176 100.0	133 75.6	21 11.9	98 55.7	93 52.8	55 31.3	41 23.3	34 19.3	49 27.8	1 0.6	4 2.3	6 3.4
65～69 歳	249 100.0	178 71.5	36 14.5	153 61.4	131 52.6	67 26.9	51 20.5	46 18.5	66 26.5	2 0.8	7 2.8	13 5.2
70～74 歳	245 100.0	160 65.3	29 11.8	121 49.4	105 42.9	71 29.0	58 23.7	47 19.2	61 24.9	3 1.2	18 7.3	28 11.4
75 歳以上	330 100.0	205 62.1	46 13.9	158 47.9	134 40.6	115 34.8	78 23.6	46 13.9	55 16.7	2 0.6	21 6.4	33 10.0

後発医薬品を使用するにあたって必要なことについて後発医薬品の使用経験の有無別にみると、使用経験の有無にかかわらず「効果があること」（あり 80.9%、なし 69.1%）が最も高く、次いで「副作用の不安が少ないこと」（同 60.6%、58.0%）、「窓口で支払う薬代が安くなること」（同 60.4%、42.3%）の順となった。後発医薬品の使用経験の有無による差異がみられたのは「窓口で支払う薬代が安くなること」であり、使用経験がある患者では使用経験がない患者と比較して 18.1 ポイント高かった。また、「効果があること」でも同様に 11.8 ポイント高い結果となった。

図表 130 後発医薬品を使用するにあたって必要なこと
（複数回答、後発医薬品の使用経験の有無別）



後発医薬品を使用するにあたって必要なことについて後発医薬品に対する満足度別にみると、後発医薬品に「満足している」という患者では、「効果があること」(82.3%)、「窓口で支払う薬代が安くなること」(69.1%)、「副作用の不安が少ないこと」(60.2%)の順であった。「どちらかという満足している」という患者では、「効果があること」(81.2%)、「副作用の不安が少ないこと」(64.4%)、「窓口で支払う薬代が安くなること」(60.5%)の順であった。「どちらかという不満+不満」という患者では、「効果があること」(81.9%)、「副作用の不安が少ないこと」(57.8%)、「窓口で支払う薬代が安くなること」(36.2%)の順であった。

図表 131 後発医薬品を使用するにあたって必要なこと（複数回答、満足度別）

